インタークーラキット

取付説明書



取付けは必ず専門業者に依頼してください。 取扱説明書を先に読んでから作業を行なってください。 本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。 万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	車種別インタークーラキット(移動タイプ)
用途	自動車専用部品
コード	1301-RT066
製品説明書品番	E04251-T43030-00 Ver.3-2.02
整備要領書品番	62145
メーカー車種	トヨタ スープラ JZA80
エンジン型式	2JZ-GTE
年 式	1993年05月~1996年04月
備考	 ・本製品を取付けるにあたり、アンダカバー及びボディの加工が必要となります。アクティブスポイラーは使用できません。 ・走行条件によってはオーバーヒートの恐れがありますので、ラジエータの交換をお勧めします。 ・AT車への取付けはできません。

改訂の記録

改訂	日 付	記載変更内容
3-2.01	1998/01	初版
3-2.02	2002/08	パーツリスト変更

パーツリスト

連番	コード	品 名	数量	形状	備	考
1	G17910-T43010-00	インタークーラコアASSY	1			
2	23244-004287 0 A	インタークーラカラー	2			
3	17311-537331	インタークーラステー No.1	1	00		
4	17311-611331	インタークーラステー No.2	1	3		
5	17311-612331	インタークーラステー No.3	1			
6	17351-543331	インタークーラパイプ No.1	1	$\bigcup_{i=1}^{n}$		
7	17355-400331	インタークーラパイプ No.2	1	S		
8	17355-404331	インタークーラパイプ No.3	1	00		
9	17355-405331	インタークーラパイプ No.4	1	\sim		
10	17387-010331	リザーブタンクステー	1			
11	1803-SA043	紫シリコンホース 65 L=70	1			
12	90400-082100	紫シリコンホース 75 L=70	1			
13	1803-SA038	紫シリコンホース 80 L=70	3	0		
14	17311-200131	パワステパイプ	1	and the same of th		
15	1805-SA008	ホースバンド #40	2			
16	1805-SA009	ホースバンド #48	8			
17	1801 - SA021	耐油ホース 10 L=2000	1	0		
18	1801-SA006	耐油ホース 10 L=1000	1	0		
19	1801-SA018	耐油ホース 8 L=1500	1	0		
20	17311-540331	パワステパイプステー No.1	1			
21	17311-541331	パワステパイプステー No.2	1	0		

パーツリスト

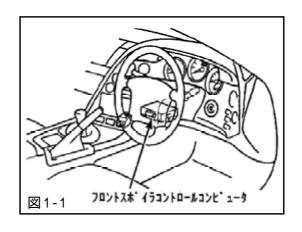
連番	コード	品名	数量	形状	備	考
22	1805-SA004	ホースバンド 10	4	S		
23		六角穴付きボルト M8 P=1.25 L=70	2			
24		ポルト M6 P=1.0 L=15	6			
25		ポルト M6 P=1.0 L=20	2			
26		ポルト M8 P=1.25 L=15	2			
27		プレーンワッシャ M6	11	0		
28		プレーンワッシャ M8	4	0		
29		スプリングワッシャ M6	8	0		
30		スプリングワッシャ M8	4	0		
31		ナット M6 P=1.0	3			
32	90131-002100	タイラップ (中)	5			
33	93050-002100TP	取扱説明書 Ver3-2.01	1	nasne CDC		
34	E04251-T43030-00	取付説明書 Ver3-2.02	1	EIDE		

1.ノーマルパーツ取外し

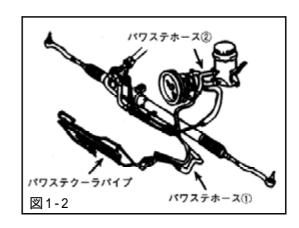
整備要領書に従って作業を行なってください。

- (1)アンダカバーを取外してください。
- (2)左右のスプラッシュシールドを取外してください。
- (3)ヘッドランプASSYを取外してください。
- (4)バンパを取外してください。
- (5)アクティブスポイラASSYを取外してください。 (アクティブスポイラ装着車のみ)
- (6)アクティブスポイラのリップ部及びリンケージ部分を 取外して、アンダカバー単体の状態にしてください。 (アクティブスポイラ装着車のみ)
- (7)フロントスポイラコントロールコンピュータに接続されているカプラを取外してください。(図1-1) (アクティブスポイラ装着車のみ)

カプラを取外さなくても走行には問題ありませんが、 タコメータ部のワーニングランプが点灯したままに なります。

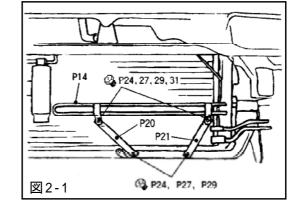


- (8)ラジエータリザーバタンクを取外してください。
- (9)ダクトカバーを取外してください。
- (10)インタークーラを取外してください。
- (11)インタークーラからスロットルまでのエアホースを 取外してください。
- (12)パワステフルードを抜いてください。
- (13)パワステクーラパイプを取外してください。(図1-2)
- (14)パワステホース 、 を取外してください。(図1-2)

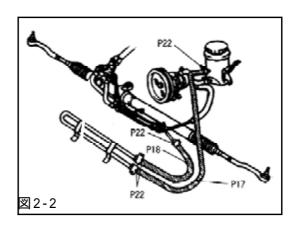


2. キット取付け

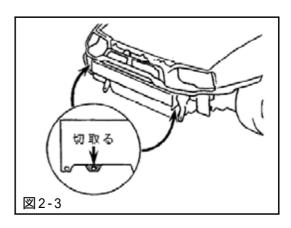
(1)パワステパイプを取付けてください。(P14) (図2-1)



(2)耐油ホースを取付けてください。 (P17,P18) (図2-2)

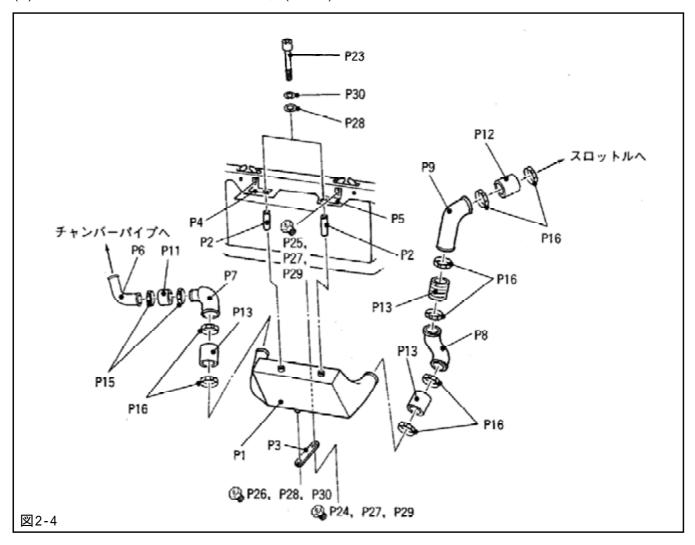


(3)斜線部を切取ってください。(図2-3)

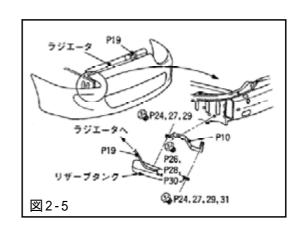


(4)インタークーラコアASSYを取付けてください。(P1) (図2-4)

(5)図のように配管を行なってください。(図2-4)

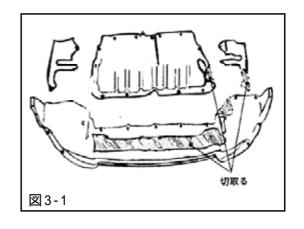


(6)リザーブタンクを取付けてください。(図2-5)



3. ノーマルパーツ取付け

(1)図のように斜線部を切取ってください。(図3-1)



(2) ノーマルパーツ取外しと逆の手順【(9) (4) (3) (2) (1)】で ノーマルパーツの取付け作業を行なってください。

4.取付後の確認

取付け作業終了後、必ず取扱説明書の「取付後の確認」に従って確認作業を行なってください。

5.パワステフルードのエア抜き作業

- (1)エンジン停止状態でステアリングホイールのロック ツゥ ロックをゆっくり数回行なってください。 オイルリザーバのフルードがなくならないように補充しながら行なってください。
- (2)アクセルペダルを踏まずにエンジンを始動して、数分放置してください。
- (3)エンジン回転数1000rpm以下で、ステアリングホイールのロック ツゥ ロックを数回繰り返してください。
- (4)オイルリザーバの口からフルードの泡立ち及び白濁がないことを点検してください。
- (5)(4)の点検結果が不良の場合は、オイルリザーバの口から、フルードの泡立ち及び白濁が消えるまでエンジンを停止して放置した後、(2)~(4)の作業を行なってください。